

もみじの森 家庭学習の手引き 2019

さっぽろっ子「学び」のススメ

さっぽろっ子「学び」のススメは、
子どもと家庭、子どもと学校、学
校と家庭をつなぐものです。

子どもは、どの子もよさや可能性をもっています。
大人は子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。
学校で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める
共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。



学校も、家庭も、**まほうのかいわ**で習慣づくり

ま

学んだことを
一緒に振り返り
ましょう。

ほう

方法を一緒に
考えましょう。

の

伸びを認め、
ほめましょう。

かい

改善に向けて、
生活を一緒に振り
返りましょう。

わ

わからないこと、
できないことに
挑戦できるよう
励ましましょう。



SAPP
RO

札幌市教育委員会

 Momiji no mori 

札幌市立もみじの森小学校
平成31年 4 月

★もみじの森 家庭学習の手引き★



小学校の学習は、将来子どもが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校でも学習内容が定着するように日々努力していますが、家庭学習を通して家庭との連携を図ることで、より確かなものになるのではないかと考えます。そこで、『さっぽろっ子「学び」のススメ』を参考にして「もみじの森 家庭学習の手引き」を作成し、保護者の皆様に配付することにいたしました。

保護者の皆様におかれましては、趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い致します。

★家庭学習を通して育てたい子どもの姿

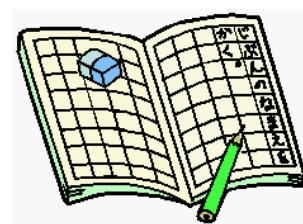
- 生活時間を有効に使うことができる子ども
- 家庭学習の習慣や方法を身に付け子ども
- 基礎的・基本的な学習内容を身に付け子ども



★基礎的・基本的な学習内容とは

主として学校で学習する内容（教科書に記載されている内容）です。
特に、次のような技能を身に付けておくことが望ましいと言えます。

- 文章をすらすら読むこと
- 漢字を読んだり、書いたりすること
- 計算の問題を解くこと



★家庭学習の習慣付けのために

【習慣化のためのポイント】

- ① 学習する時間を決めて、毎日同じ時間に！
- ② ゲームは時間を決めて、テレビを消して集中力アップ！
- ③ 中学年以上の子どもは、学習の後、「答え合わせ（自分で）」まで。

◎おうちの方へ

さっぽろっ子「学び」のススメにある「まほうのかいわ」を参考に

☆家庭での声かけをよろしくお願いいたします！

- ・子どもが、学習に関心をもつよう、励ましてあげてください。
- ・子どもが、たずねてきたらできる範囲で結構ですので答えてあげてください。
- ・子どもが、頑張った成果（ノートやプリント等）に目を通して、努力を認めてあげてください。

※「答え合わせをする意味」

子どもたちにとって答え合わせは「正解・不正解」を確かめるだけの活動と思われがちですが、実際は、学習内容の理解に関わる重要なものと言えます。

「不正解」だった問題については「どこが間違っているのか」「どうして違ってしまったのか」をていねいに探ることにより『自分の理解度』を把握し、『弱いところの補強（再考する・練習をする）』ことによって『確かな定着』へとつながっていきます。

このプロセスを確実に実行できれば、『間違えることが、より確実に覚えることにつながる』と言えます。

(2) 学年の発達段階による家庭学習に向かう姿

低学年	中学年	高学年
・学校の宿題ができる。 ・宿題以外にも、少しずつ自主的な学習ができる。 ・お家の人にも確かめてもらい、答え合わせができる。	・学校の宿題ができる。 ・宿題以外にも、少しずつ自主的な学習ができる。 ・お家の人にも確かめてもらい、答え合わせができる。	・学校の宿題ができる。 ・宿題以外にも、少しずつ自主的な学習ができる。 ・お家の人にも確かめてもらい、答え合わせができる。

(3) 家庭学習の時間の目安

学年×10分（例えば6年生なら6×10＝60分）

あくまでも目安として捉えてください。興味・関心のある内容、やりがいのある問題に取り組んでいる場合は、それ以上になることでしょう。また、休日や夏休みなどに自由に使うことのできる時間が確保できるのであれば、さらに30分～60分程度増やせるとよいでしょう。

(4) 家庭学習の内容（下記の内容は一例です。）

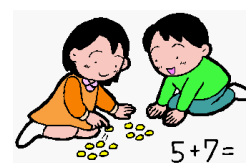
国語・算数・社会・理科・総合・生活

- ・漢字練習（6年間で1006字⇒1026字：次期学習指導要領）や試写
- ・言葉の意味調べ
- ・教科書の問題をもう一度解いてみる。
- ・計算練習や百マス計算
- ・授業で学習したことをもう一度ノートにまとめる。
- ・日記・生活の中から問題を見つける。
- ・音読・テストの問題をもう一度解く。
- ・市販の問題集の問題を解く……。



他にも……

- ・新聞や読み物の感想をまとめてみましょう。
- ・国語辞典、漢字辞典、その他の図鑑を身近において調べてみましょう。
- ・日本地図、世界地図を身近において調べてみましょう。
- ・できる範囲で、新聞に目を通してみましょう。
- ・自然や生き物とふれあい、観察してみましょう。
- ・読書や詩の暗唱をしてみましょう。（百人一首などもいいですね）



○家庭学習用のノートも準備して取り組みましょう。

	国 語	算 数
1年生・2年生	12マス×8行 十字リーダー	12×7マス 18mmマス
	12マス×8行 十字リーダー	12×17マス 12mmマス
	1・2年生はマスを意識して漢字練習や位を意識して計算練習できるように学校で使用している形式のノートを準備するといいいですね。	
3年生～ 6年生	3年生以上の学年は、漢字練習や計算練習など、様々な学習に利用できる ★5mm方眼野 10mm実線入り 使用すると便利です。	

「まほうのかいわ」で習慣づくりって、どうすればいいの？（小学校編）



子どもの「学ぶ力」や「健やかな身体」「豊かな心」は、学校だけで育まれるものではなく、家庭で過ごす時間も重要です。より良い習慣を身に付けるためには、子ども自身が意欲をもって取り組むことが重要ですが、それには学校と家庭の支えが欠かせません。学習習慣、運動習慣、生活習慣づくりに向けて、家庭では子どもにどんな声をかけていくとよいのでしょうか？

ま

学んだことを一緒に振り返りましょう。

お子さんが今、どんな学習やスポーツをしているのかについて、共有しましょう。「まほうのかいわ」は子どもの学びを「知る」ことからスタートです。

ほう

方法を一緒に考えましょう。

今すぐにでもできそうなことを一緒に考えてみましょう。その中から実際にやってみることをお子さん自身が決められるよう支えましょう。

の

伸びを認め、ほめましょう。

お子さんが自分の目標に向かって自ら動き、がんばる姿から、プラスの変化を見つけ、言葉で表しましょう。小さな努力や成長に気付いていることを示してあげましょう。

かい

改善に向けて、生活を一緒に振り返りましょう。

お子さんは、今、何に困っているのでしょうか。子どもの困りをとらえ、うまくいかない原因やどうしたらよいかを子どもの目線で一緒に考えることから始めましょう。

わ

わからないこと、できないことに挑戦できるよう励ましましょう。

失敗も悩みも子どもの成長には欠かせません。お子さんが自信をもてないときこそ、温かい励ましの言葉が「やってみよう！」という意欲や乗り越える力につながります。



学習習慣づくりのための「まほうのかいわ」

ま

「今日は学校でどんな勉強をしたの？」「明日の勉強は？」などと聞き、「今日の勉強の復習を一緒にしようね」「明日の予習を一緒にしようね」「興味のある学習で家庭学習に取り組んでみたら」などの声をかけましょう。

ほう

「家庭学習の時間を一緒に決めようね」「テストの見直しをしようね」「一緒に読書しようね」「何をやるかは自分で考えようね」「今度は一緒に〇〇を見に行ってみよう」などと声をかけましょう。

の

「毎日、家庭学習を頑張っているね」「文字が丁寧になったね」「本読みが上手になったね」「計算が速く正確にできてきたね」「〇〇なことにも興味をもてるようになったね」などと声をかけましょう。

かい

「今日勉強したノートをもう一度見てみようか」「どんなところがわからないの」「わからなかったところをもう一度考えてみようか」「テストで間違えたところをやり直そうね」などと声をかけましょう。

わ

「〇〇は難しいね」「わからないことやできないこともあるよ」「一緒に考えてあげるよ。あきらめないで挑戦してみようね」「今度は新しいことにも挑戦してみるといいね」などと声をかけましょう。



学習習慣づくりのための「まほうのかいわ」

ま

「好きなスポーツは何か?」「体育でどんな学習しているの?」「休み時間はどんな運動をしているの?」「何が得意かな」「札幌のプロスポーツで好きなチームはあるかな」などと声をかけましょう。

ほう

「毎朝、ラジオ体操をやってみようね」「毎日柔軟運動をやってみようね」「縄跳びやジョギング、続けられそうなことを考えようね」「一緒にどんなことができるか調べてみようか」などと声をかけましょう。

の

「体が柔らかくなってきたね」「ジョギングの時間も長くなってすごいね」「縄跳びでいろいろな技ができるようになったね」「運動会での走り方が上手だったね」などと声をかけましょう。

かい

「一緒にジョギングをやってみようか」「うまくできない原因を一緒に考えてみようか」「運動のコツをいっしょにしらべてみようか」「長く続ける方法(時間・回数等)を一緒に考えようね」などと声をかけましょう。

わ

「縄跳びの新しい技に挑戦してみようね」「一緒に柔軟運動を続けてみようね」「一緒にスキーに行こうね」「いつもと違うスポーツに挑戦してみようか」「一緒にプロスポーツを観戦しに行こうね」などと声をかけましょう。



生活習慣づくりのための「まほうのかいわ」

ま

「おはよう!昨日はよく眠れた?」「学校には遅れずに着いているかな」「学校で元気に過ごしているかな」「給食は残さず食べられているかな」「先生やお友達に挨拶ができているかな」「家の手伝いで何が続けられているかな」などと声をかけましょう。

ほう

「〇時に寝て〇時に起きると朝の余裕があるし、学校でも元気に過ごせるよ」「毎日、気持ちのいい挨拶をしようね」「家のお手伝いで、続けられそうなことを考えようね」などと声をかけましょう。

の

「毎日、いい挨拶ができていね。気持ちがいいね。」「お手伝いを続けていてみんな助かるよ。ありがとう」「家族のためにできることが増えたね。すごいね。」などと声をかけましょう。

かい

「1日の時間の使い方を表に書いてみようか」「早寝早起き、うまくできない原因を一緒に考えてみようか」「一緒に家の仕事をやってみようか」「続けられる方法を一緒に考えようね」などと声をかけましょう。

わ

「思った通りにできないこともあるね」「決めた早寝早起き、毎日挑戦してみようね」「一緒にお手伝いをしようね。こつこつ続けてみようね」「家族みんなでいい挨拶を続けようね」などと声をかけましょう。

◎1年生の かていがくしゅうについて◎

★いえの人と いっしょによみましょう。



◆もくひょう

- いえにかえったら、すぐにしゅくだいをしましょう。
- まい日10ぷんいじょうは、がんばってがくしゅうしましょう。
- 休みのひやなつ休みなどには、もうすこしがんばってみましょう。
- てれびを見ないでやりましょう。



◆かていがくしゅうのまえに・・・

- ・学校からの おてがみは、おうちの人にわたしましたか。
- ・べんきょうするばしょは、かたづいていますか。
- ・しせいやえんぴつのもちかたは、ただしいですか。

◆こんなないようをこんなやりかたでやってみよう！！



* がくしゅうないよう やりかたのれい

① もじのれんしゅう（ひらがな、かたかな、かん字 80字）

- ・おてほんの字の かたちをよく見て ていねいにこくかきます。
- ・「とめる」「はねる」「はらう」に、きをつけてかきましょう。
- ・きょうかしょを見て、ノートにうつしてかきます。
- ・きょうかしょを よむれんしゅうをします。



② さんすうのもんだいをとく

- ・きょうかしょに でている「たしざん」「ひきざん」を くりかえしてときましょう。
- ・ぷりんとやどりの もんだいを よくよんでやりましょう。

◆かていがくしゅうのあとに・・・



○おうちのひとに見せましょう。

○じかんわりをたしかめて、あすのじゅんびをしましょう。

（きょうかしょは？ノートは？）

○えんぴつは、けずりましたか？ けしごむ、はきれいですか？たしかめましょう。

◎2年生の かてい学しゅうについて◎

★いえの人といっしょに読みましょう。



◆もくひょう

- いえにかえったら、すぐにしゅくだいをしましょう。
- 毎日20分いじょうは、がんばって学しゅうしましょう。
休みの日や夏休みなどには、もっとがんばってみましょう。
- テレビを見ないでやりましょう。

◆かてい学しゅうの前に・・・

- ・学校からのお手紙は、おうちの人にわたしましたか。
- ・べんきょうするばしょは、かたづいていますか。
- ・しせいやえんぴつのもちかたは、正しいですか。



◆こんなないようをこんなやり方でやってみよう！！

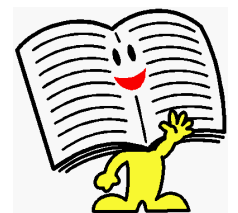
*学しゅうないよう やりかたのれい

①国語の学しゅう

- ・「とめ」「はね」にきをつけて、かん字を書きます。（2年生 160字）
- ・読みかたやおくりがなも たしかめましょう。ていねいに書きましょう。
- ・きょうかしょをみて、ノートにうつして書きます。
- ・きょうかしょをすらすらと読めるように、れんしゅうします。

②算数のもんだいをとく

- ・きょうかしょの計算「たしざん」「ひきざん」のもんだいをときます。
- ・ノートに「100マス計算」のれんしゅうをする。
- ・かけざん九九をおぼえるれんしゅうやノートに書きます。
- ・やりおわったら、まちがえていないか見直しをしましょう。
- ・ドリルは、できたら答え合わせをし、まちがえたら直しましょう。



③日記を書く

- ・日にちを書いて、心にのこったできごとをくわしく書きましょう。

◆かてい学しゅうのあとに・・・

- おうちの人に見せましょう。
- 時間わりをたしかめてあすのじゅんびをしましょう。（きょうかしょは？ノートは？）
- えんぴつは、けずりましたか？ けしゴムは、きれいですか？たしかめましょう。



◎3年生の家庭学習について◎

★家の人といっしょに読みましょう。



◆もくひょう

- 家に帰ったらすぐに宿題をしましょう。
- 毎日 30分以上は、がんばって学習しましょう。
休みの日や夏休みなどには、もっとがんばってみましょう。
- 宿題以外でもできそうな学習にちょうせんしましょう。
- 家庭学習用のノートを準備して、がんばってみましょう。

◆家庭学習の前に・・・

- ・学校からのお手紙は、家の人にわたしましたか。
- ・勉強する場所は、かたづいていますか。
- ・しせいやえんぴつの持ち方は、正しいですか。



◆こんな内容を、こんなやり方でやってみよう！！

* 学習内容やり方の例

①国語の学習

- ・教科書を見て、正かくに、ていねいに1行ずつ、漢字練習（3年生 200字）をする。
- ・漢字の読みかたやおくりがなをしっかりおぼえましょう。
- ・教科書をすらすらと読めるように練習する。

②算数の問題をとく

- ・ノートに百マス計算をやってみる。
- ・教科書の練習問題・力だめしなどをノートに書いてやってみる。

③社会・理科等で、よう点をまとめて

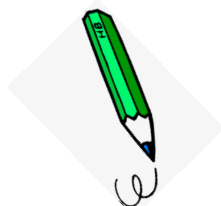
- ・教科書の中で、大切なところをノートに写したり、まとめたりする。



- ・算数は、習った問題についてはやったままにせず、自分で答え合わせをしましょう。
まちがえたところは、おうちの人や先生にたずねたりして、直しましょう。
- ・漢字は、おうちの人に確かめてもらいましょう。
まちがえたところは、正しく書き直して何度も練習しましょう。

◆家庭学習の後に・・・

- 時間割を確かめて明日の準備をしましょう。（教科書は？ノートは？）
- えんぴつは、けずりましたか？ 消しゴムは、きれいですか？



◎4年生の家庭学習について◎

* 家の人といっしょに読みましょう。



◆目標

- 毎日 家庭学習をする習慣を身に付けましょう。
- 毎日 40分以上はがんばって学習しましょう。
休みの日や夏休みなどには、もっとがんばってみましょう。
- 自主的な学習にも取り組みましょう。
- 家庭学習用のノートを準備して取り組みましょう。

◆家庭学習の前に・・・

- ・ テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- ・ 勉強する場所はきれいですか。
- ・ 正しい姿勢になっていますか。



◆こんな内容を、こんなやり方でやってみよう！！

学習内容やり方の例

① 国語の学習

- ・ 教科書を見て、正かくに、ていねいに漢字練習（4年生 200字⇒202字）をする。
- ・ 教科書をすらすら読めるように練習する。

② 算数の学習

- ・ 計算問題、文章問題、図形の問題を解く。
- ・ プリント、算数ドリルをやってみる。
- ・ 教科書の練習問題・力だめしなどノートに書いてやってみる。



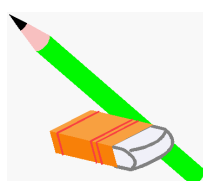
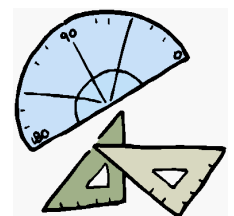
③ 社会・理科等、授業での要点を整理する。

- ・ 教科書の中で、大切なところをノートに写したりまとめたりする。

- ・ 算数は、習った問題についてはやったままにせず、自分で答え合わせをしましょう。
まちがえたところは、家の人や先生にたずねて、直しましょう。
- ・ 漢字の答え合わせは、はじめのうちは、家の人に協力してもらいますが、だんだん自分で答え合わせができるようにしましょう。

◆家庭学習の後に・・・

- 時間割を確かめて明日の準備をしましょう。（教科書は？ノートは？）
- えんぴつは、けずりましたか？ 消しゴムは、きれいですか？



◎5年生の家庭学習について◎

* 家の人といっしょに読みましょう。



◆目標

- 毎日50分以上は、がんばって学習しましょう。
- 休みの日や夏休みなどには、もっとがんばってみましょう。
- 学習習慣を確実に身に付けましょう。
- 自分に合った自主的な学習にも取り組みましょう。
- 家庭学習のノートを準備して、1日1ページ以上取り組みましょう。

◆家庭学習の前に・・・

- ・テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- ・勉強する場所はきれいですか。
- ・正しい姿勢になっていますか。



◆こんな内容を、こんなやり方でやってみよう！！

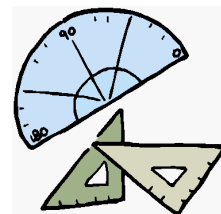
学習内容やり方

① 国語の学習

- ・教科書を見て漢字練習（5年生 185文字）正確に、ていねいに、練習をする。
- ・辞典を使って言葉の意味調べをする。
- ・教科書をすらすら読めるように練習する。

② 算数の学習

- ・計算問題・文章問題・図形の問題をとく。
- ・プリント、算数ドリルをやってみる。
- ・教科書の練習問題・力だめしなどをノートに書いてやってみる。



③ 社会・理科等、授業での要点を整理する。

- ・教科書の中で、大切なところをノートに写したり、まとめたりする。

④ その日の復習に挑戦

- ・その日、学習した教科書の内容を、もう一度ノートに書いてやってみる。

⑤ 家にある問題集の問題を解く・ドリル等とやり方は同じ。答え合わせが大切。

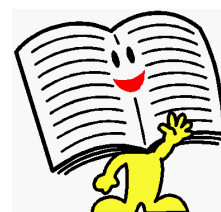
- ・難しい問題に取り組んでみる。分からない問題があった場合は、次の日に先生に聞いてみよう。

- ・漢字や算数は、習った問題については、やったままにせず、自分で答え合わせをして、まちがえたところはかならず直しましょう。

◆家庭学習の後に・・・



- しっかり学習できたか振り返ってみよう（時間は、内容は、姿勢は）
- 時間割を確かめて明日の準備をしましょう。（教科書は？ノートは？）
- えんぴつは、けずりましたか？ 消しゴムは、きれいですか？



◎6年生の家庭学習について◎

* 家の人といっしょに読みましょう。



◆目標

- 毎日60分以上は、がんばって学習しましょう。
- 休みの日や夏休みなどには、もっとがんばってみましょう。
- 集中して学習しましょう。
- 自主的な学習にも進んで取り組みましょう。
- 予習や復習を、家庭学習ノートを準備して、1ページ以上やりましょう。

◆家庭学習の前に・・・

- ・テレビやゲームのスイッチは消しましたか。
- ・勉強する場所はきれいですか。
- ・正しい姿勢になっていますか。



◆こんな内容を、こんなやり方でやってみよう！！

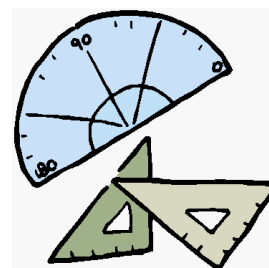
学習内容やり方の例

① 国語の学習

- ・教科書を見て漢字練習（6年生 181字）正確に、ていねいに練習をする。
- ・辞典を使って言葉の意味調べをする。
- ・教科書をすらすら読めるように練習する。

② 算数の学習

- ・計算問題・文章問題・図形の問題を解く
- ・プリント、算数ドリルを解いてみる。
- ・教科書の練習問題・力だめしなどをノートに書いてやってみる。
- ・自分の苦手なところを授業で考えた方法を使って解いてみる。



③ 社会・理科等、授業での要点を整理する

- ・教科書の中で、大切なところをノートに写したり、まとめたりする。

④ その日の復習に挑戦

- ・その日、学習した教科書の内容を、もう一度ノートに書いてやってみる。

⑤ 家にある問題集の問題を解く・ドリル等とやり方は同じ。答え合わせが大切。

- ・難しい問題に取り組んでみる。分からない問題があった場合は、次の日に先生に聞いてみよう。
- ・自分に必要な学習を考えて、めあてをもって取り組んでみましょう。

- ・漢字や算数は、習った問題については、やったままにせず、自分で答え合わせをして、まちがえたところはかならず直しましょう。

◆家庭学習の後に・・・



- しっかり学習できたか振り返ってみよう（時間は、内容は、姿勢は）
- 時間割を確かめて明日の準備をしましょう。（教科書は？ノートは？）
- えんぴつは、けずりましたか？ 消しゴムは、きれいですか？



★もみじの森『このみ学級』家庭学習の手引き★

小学校の学習は、将来子どもが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校でも学習内容が定着するように日々努力していますが、家庭学習を通して家庭との連携を図ることで、より確かなものになるのではないかと考えます。そこで、『さっぽろっ子「学び」のススメ』を参考にして「もみじの森 家庭学習の手引き」を作成し、保護者の皆様に配付することに致しました。

保護者の皆様におかれましては、趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い致します。

★家庭学習を通して育てたい子どもの姿

- 生活時間を有効に使うことができる子ども
- 家庭学習の習慣や方法を身に付け子ども
- 基礎的・基本的な学習内容を身に付け子ども



★基礎的・基本的な学習内容とは

主として学校で学習する内容（教科書に記載されている内容）です。

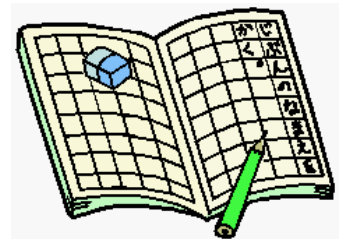
特に、次のような技能を身に付けておくことが望ましいと言えます。

- 文章をすらすら読むこと
- ひらがな・カタカナ・漢字を書いたりすること
- 数を数える、たし算・引き算・かけ算・割り算などの計算の問題を解くこと

★家庭学習の習慣付けのために

【習慣化のためのポイント】

- ①学習する時間を決めて、毎日同じ時間に。
- ②テレビを消して集中力アップ！



◎おうちの方へ

さっぽろっ子「学び」のススメにある「まほうのかいわ」を参考に

☆家庭での声かけを大切に・・・

- ・子どもが、学習に関心をもつよう、励ましてあげてください。
- ・子どもが、たずねてきたらできる範囲で結構ですので答えてあげてください。
- ・子どもが、頑張った成果（ノート等）に目を通して、努力を認めてあげてください。

(2) 学年の発達段階による家庭学習に向かう姿

こ の み 学 級

- ・学校の宿題ができる。
- ・宿題以外にも、少しずつ自主的な学習ができる。
- ・お家の人にも確かめてもらい、答え合わせができる。

(3) 家庭学習の時間のめやす

最初は、10分程度から、無理のないように少しずつ時間を延ばしていきましょう。
大切なことは、家庭学習の習慣を身に付けることです。

(4) 家庭学習の内容（下記の内容は一例です。）

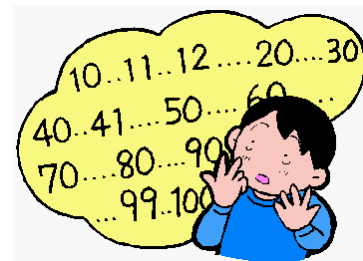
国語・算数・社会・理科・総合・生活

- ・ひらがな・カタカナ・漢字練習をノートに書く。
- ・教科書のお話をノートに視写する。
- ・学校で取り組んだ問題をもう一度解いてみる。
- ・計算練習や百マス計算をする。
- ・日記を書く。
- ・教科書や本を音読する。



他にも・・・

- ・自然や生き物とふれあい、観察してみましょう。
- ・詩の暗唱をしてみましょう。



○家庭学習用のノートも準備して取り組みましょう。

- ◆ノートは、学校で使用している種類のノートが使いやすいので準備してあげてください。



◎このみくみの かていがくしゅうについて◎

★いえのひとと いっしょによみましょう。



◆もくひょう

- いえにかえったら、すぐにしゅくだいをしましょう。
- まいにち、1ねんせいは10ふん・2ねんせいは20ふん・3ねんせいは30ふんくらい、がんばってがくしゅうしましょう。
- やすみのひやなつやすみなどには、もうすこしがんばってみましょう。
- てれびを みないでやりましょう。



◆かていがくしゅうのまえに・・・

- ・ がっこうからの おてがみは、おうちのひとにわたしましたか。
- ・ ベンキョウするばしょは、かたづいていますか。
- ・ しせいやえんぴつのもちかたは、ただしいですか。



◆こんなないようをこんなやりかたでやってみよう！！

* がくしゅうないよう やりかたのれい

① もじのれんしゅう（ひらがな、かたかな、かんじ）

- ・ おてほんのじの かたちをよくみて ていねいに こくかきます。
- ・ きょうかしょをみて、ノートにうつしてかきます。
- ・ きょうかしょを よむれんしゅうをします。



② さんすうのもんだいをとく

- ・ きょうかしょに でているもんだいを くりかえしてときましょう。
- ・ ぷりんとやどりの もんだいを よくよんでやりましょう。

③ にっきをかく

- ・ 日にちをかいて、こころにのこったできごとを くわしくかきましょう。

◆かていがくしゅうのあとに・・・

○おうちのひとにみせましょう。



○じかんわりをたしかめて、あしたのじゅんびをしましょう。

（きょうかしょは？ノートは？）

○えんぴつは、けずりましたか？ けしごむは、きれいですか？たしかめましょう。

◎このみ2組の 家庭学習について◎



★家の人といっしょに読みましょう。

◆もくひょう

○家に帰ったら、すぐにしゅくだいをしましょう。

○毎日、4年生は40分、5年生は50分、6年生は60分以上の家庭学習ができるよう
にがんばりましょう。休みの日や夏休みなどには、もっとがんばってみましょう。

○テレビを見ないでやりましょう。

◆家庭学習しゅうの前に・・・

- ・学校からのお手紙は、おうちの人にわたしましたか。
- ・勉強する場所は、かたづいていますか。
- ・しせいやえんぴつの持ち方は、正しいですか。



◆こんな内容をこんなやり方でやってみよう！！

★国語の学習

・「とめ」「はね」「はらい」に気をつけて、ひらがな・かたかな・かん字を書きましょう。

・読み方やおくりがなも たしかめましょう。ていねいに書きましょう。

・教科書をすらすらと読めるように、練習しましょう。



★算数の学習

・教科書の計算問題をときましょう。

・算数ドリルをといてみましょう。



★日記を書く

・日にちを書いて、心にのこったできごとを くわしく書きましょう。

◆家庭学習のあとに・・・

○おうちの人に見せましょう。



○時間わりをたしかめて明日のじゅんびをしましょう。（教科書は？ノートは？）

○えんぴつは、けずりましたか？ 消しゴムは、きれいですか？たしかめましょう。

